

↓扉の吊込動画はコチラ



施工手順書⑦-1

カエサル(CAESAR)

スイングドア、サイドガラスユニット

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

- | | |
|------------|---|
| ①木工事 | ①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様 |
| ②クロス・塗り壁工事 | |
| ③扉・金物の取付 | ③-1. 片開き戸、親子戸
③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)
③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
③-4. 片引き戸(床付レール) |

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

- | | |
|------------|---|
| ④クローゼット | ④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸
④-3. スライド片開き戸 |
| ⑤オートマチックドア | ⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸 |
| ⑥ヴェト口 | ⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸 |
| ⑦カエサル | ⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット |
| ⑧マルコ | ⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊) |
| ⑨フィット | ⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊) |

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

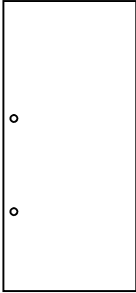
□ スイングドア 【カエサル専用】
















カエサル

施工手順書2022/1更新

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同				
部材	数量	備考					
開き戸	1枚						
				梱			
			品				

建具金物箱			同	ハンドル	ステンレルプレート	ゴムパッキン	
部材	数量	備考		 1セット	 4ヶ	 5ヶ(予備1ヶ)	
金物箱	10セットに付1箱			スプリングワッシャー	ビス(M6×80)	ゴム製リング	ビス(M6×50)
				 2ヶ	 2本	 ※使用しません 2ヶ	 ※使用しません 2本
			梱	下部フロアヒンジ受け	フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ	上部フロアヒンジ受け
			品	 1セット	 4本	 1セット	 1ヶ
				扉側上部ヒンジ	上部ヒンジ取付けビス(半ネジ)	扉側下部ヒンジ	下部ヒンジ取付けビス(全ネジ)
				 1ヶ	 8本(M5×25)	 1ヶ	 13本(M4.5×25)
				扉側下部ヒンジカバー	扉側上部ヒンジカバー	ヒンジカバー取付けビス	施工手順書
				 1ヶ	 1ヶ	 1セット	
				六角レンチ(M3)	六角レンチ(M4)		
				 下部フロアヒンジ受け用 1ヶ	 扉側上部ヒンジ用 1ヶ		


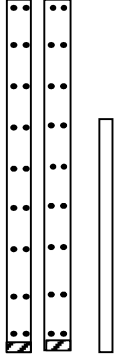
□ スイングドア 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2022/1更新

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地枠			同 梱 品	ダンドリビス																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>縦枠下地</td> <td>2本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口定規</td> <td>1本</td> <td>下地枠内寸法用</td> </tr> </tbody> </table>				部材	数量	備考	縦枠下地	2本		開口定規	1本	下地枠内寸法用	 <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>28本</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>32本</td> </tr> </table>	H24	28本	H27	32本			
部材	数量	備考																		
縦枠下地	2本																			
開口定規	1本	下地枠内寸法用																		
H24	28本																			
H27	32本																			
			施工手順書 																	

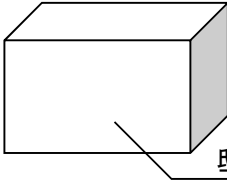
□ スイングドア 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2022/1更新

■ 製品及び同梱内容の確認(オプションハンドルの場合)

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具金物箱			下部フロアヒンジ受け	フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ	上部フロアヒンジ受け	
部材	数量	備考					
金物箱	10セットに付1箱						
 <p>邸別段ボール箱</p>			共	扉側上部ヒンジ	扉側下部ヒンジ	ヒンジ取付けビス	扉側下部ヒンジカバー
			通	扉側上部ヒンジカバー	ヒンジカバー取付けビス	六角レンチ(M3・M4)	施工手順書
			GF・GG	ハンドル(GF・GG)	コロ	ゴムパッキン	
			GF・GG ハンドル 同梱品	スプリングワッシャー	ビス(M6×80)	横ビス(M3.8×5.5)	
				ハンドル(GE)			コロ
			GE ハンドル 同梱品	スプリングワッシャー	ビス(M6×80)	横ビス(M3.8×5.5)	
				ハンドル(GH)		ステンレルプレート	ゴムパッキン
			GH ハンドル 同梱品	スプリングワッシャー	ビス(M6×80)	ゴム製リング	ビス(M6×50)

□スイングドア

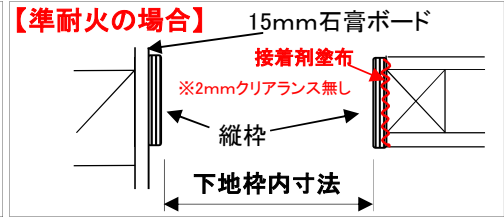
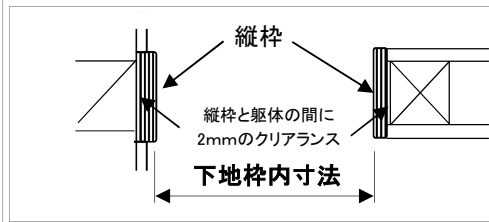
【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2022/1更新

1 縦枠の取付け

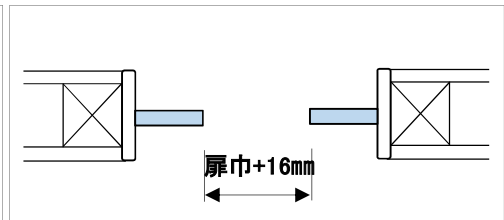
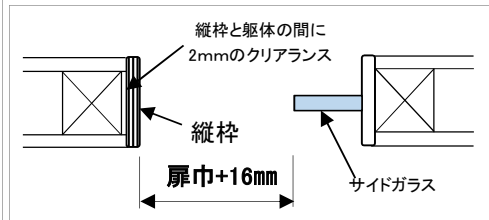
- ① 【サイドガラス無しの場合】
開口寸法を確認して柱に縦枠を取付けてください。



縦枠を取付け後、開口寸法を確認
柱と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける

【準耐火の場合】壁平面に取付けの場合、
15mm石膏ボードの上から縦枠を取付ける

- 【サイドガラス有りの場合】
サイドガラスが入る側には縦枠は取付きません。
サイドガラスからの開口寸法をご確認ください。
※サイドガラスの施工方法は本手順書のp12~をご覧ください。



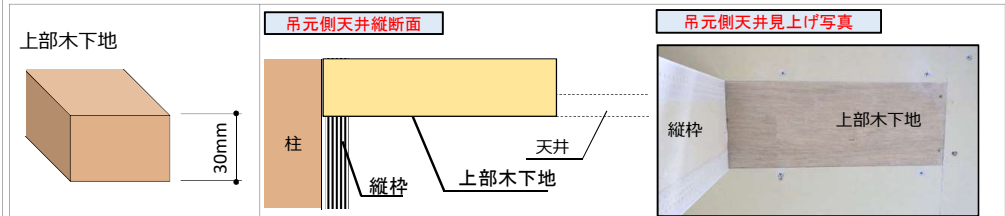
【片側サイドガラスの場合】
サイドガラスの無い方に縦枠を取付けてる
躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける

【両側サイドガラスの場合】
縦枠の取付け無し
サイドガラス間の寸法を確認する

- 注意**
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。
※標準納まりの場合、躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設けてください。準耐火納まりの場合は2mmのクリアランスは必要ありません。
※サイドガラスの施工手順に関しては本施工手順書のp12~をご覧ください。

2 上部木下地の取付け

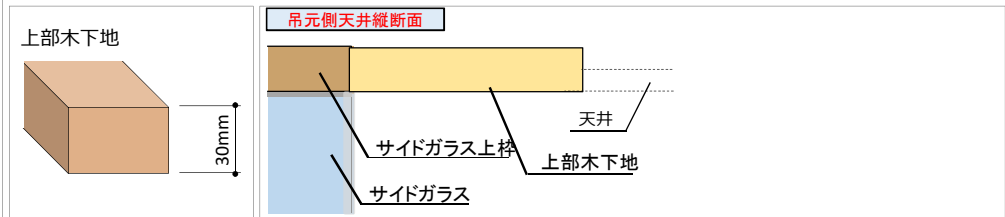
- ① 【サイドガラス無しの場合】
吊元天井に上部ヒンジ受けを取付けるため、厚み30mmの上部木下地を取付けてください。
この時、上部木下地は天井高さに合わせてください。



上部木下地を用意する
(厚み30mm)

上部木下地の下端を天井面に合わせて取付ける

- ② 【吊元側サイドガラス付きの場合】
吊元天井側に上部ヒンジ受けを取付ける為、厚み30mmの上部木下地を取付けてください。
取付位置はサイドガラスの上枠から取付けてください。



上部木下地を用意する
(厚み30mm)

サイドガラス上枠から上部ヒンジ受けを取付ける位置に合わせて上部木下地を取付ける

- 注意**
※上部木下地は必ず厚み50mm以上にご覧ください。

□スイングドア

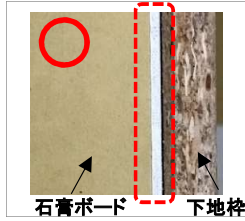
【カエサル専用】

カエサル

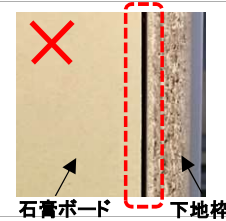
施工手順書2022/1更新

3 石膏ボード・巾木・クロス施工

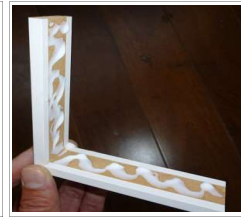
① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。
 (接着剤は酢ビ系をお勧めします)
 ※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。



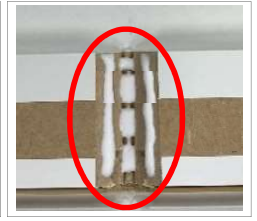
石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす



枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている

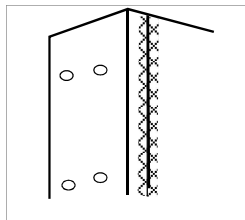


接着剤全面塗布

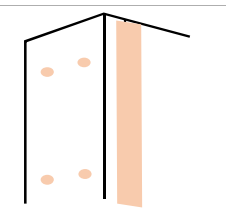


Vカット部分も接着剤を塗布する

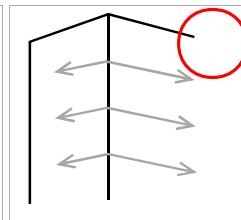
② 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。
 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。
 金物加工部をまたいでクロスを貼ってください。



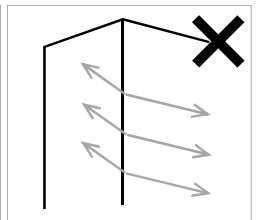
ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る



ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る



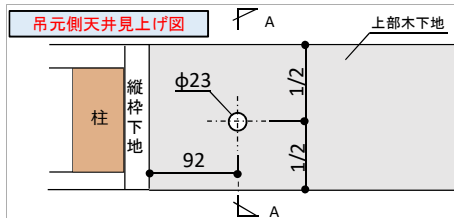
クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります

注意

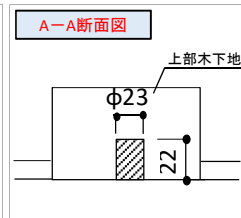
※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合：高さ30mm×深さ7mm)。
 ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな買無ないようにしてください。

4 上部木下地の加工

① 【サイドガラス無しの場合】
 上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、φ23 深さ22mmの穴加工をしてください。



穴加工位置

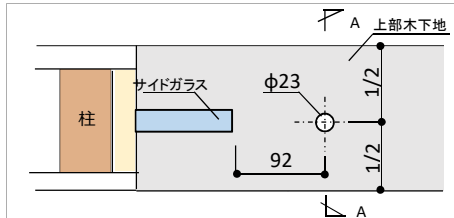


穴加工断面寸法
φ23 深さ22mm

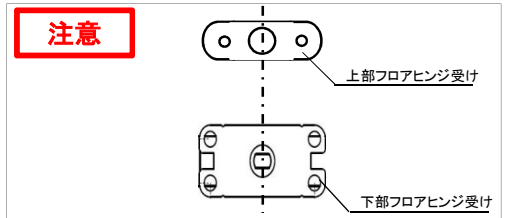


穴加工部見上げ写真

【吊元サイドガラス付きの場合】
 上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、サイドガラスの端部から92mmの位置に加工(φ23 深さ22mm)をしてください。



【吊元側サイドガラスの場合】
 サイドガラス端部から92mmの位置に穴加工



上部フロアヒンジ受けのセンターは下部フロアヒンジ受けのセンターとずれないように取り付ける

注意

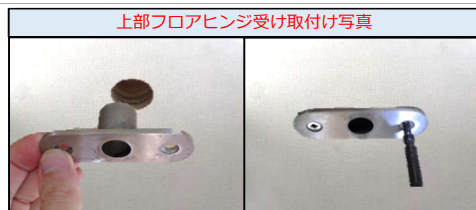
□スイングドア 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2022/1更新

5 上部フロアヒンジ受け（上枠側）の取付け

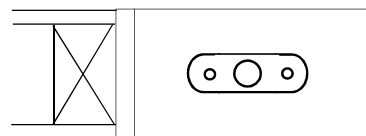
- ① 上部木下地の穴加工部に、上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。



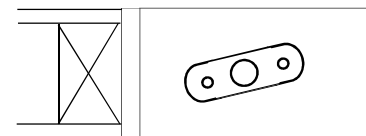
穴加工部に上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付け

金物は扉開口に対して平行になるように取付けてください。

吊元側天井見上げ図



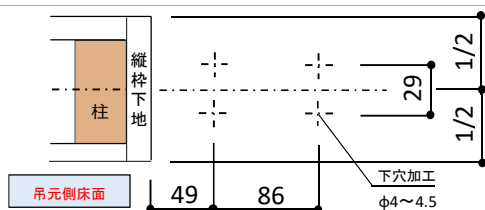
吊元側天井見上げ図



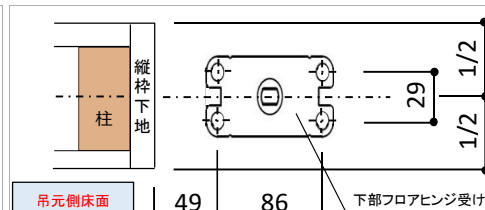
注意 ※上部フロアヒンジ受けをビス止めする時は、扉開口に対して平行になるように取付けてください。

6 下部フロアヒンジ受けの取付け

- ① **【サイドガラス無しの場合】**
吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）をしてください。
下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。

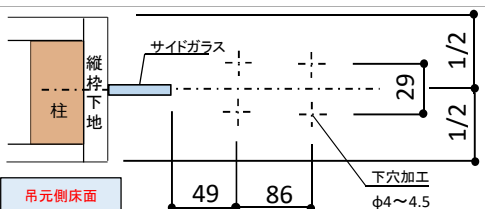


吊元側の床面（上図寸法位置）に下部フロアヒンジ受け用の下穴加工（φ4～4.5）をする（4箇所）

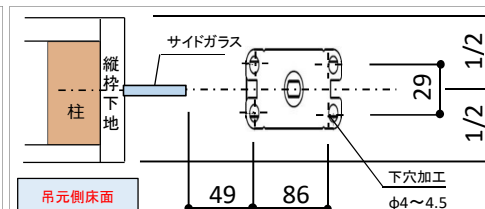


下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

- ② **【吊元側サイドガラス付きの場合】**
サイドガラス端部から49mmの位置に吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）を空けてください。
下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。



【サイドガラスの場合】
サイドガラス端部から49mmの位置に下穴を空ける



下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

注意 ※下穴加工は寸法通り空けてください。下穴加工位置がずれると下部フロアヒンジ受けが斜めに取付いてしまいます。

□スイングドア 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2022/1更新

7 扉側下部フロアヒンジ軸の回転

- ① 建具金物箱から扉側の下部ヒンジを取出し、下部フロアヒンジ受けに軸を入れてください。
下部ヒンジを持って**A面側に90度回転**させてください。



下部フロアヒンジ受けに軸を入れ、
下部ヒンジを持って軸を**A面側に90度回転**させる。

- ② 扉側の下部ヒンジの軸が90度回転していることを確認してください。



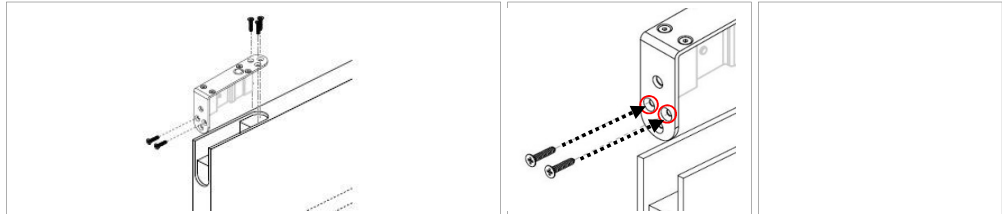
軸が写真のように縦向きになっていることを確認

注意

※必ず扉側の下部フロアヒンジの軸を90度回転させ、軸を縦向きにしてください。軸を回転しないと扉を吊り込めません。

8 扉側ヒンジ金物の取付け

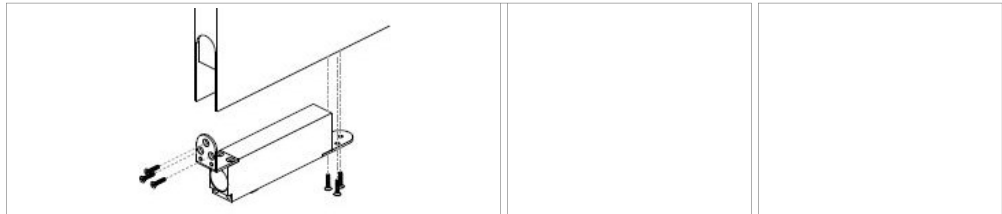
- ① 扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを同梱ビス (M5×25 半ネジ) 5本で取付けてください。



扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを取付ける

※平行に空いている穴に
ビスを取付ける

- ② 扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを同梱ビス (M4.5×25 全ネジ) 6本で取付けてください。



扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを取付ける

注意

□スイングドア 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2022/1更新

9 扉の吊り込み

- ① 扉をA面側に90度開いた状態で下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れてください。



扉をA面側に90度開いた状態で、下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れる

- ② 扉を90度開いた状態で、上部フロアヒンジ受けの軸受けと、扉側の上部ヒンジの軸芯を合わせてください。
扉側の上部ヒンジの小口面の調整ネジを六角レンチで回し、軸芯を全て出して軸受けに入れてください。



軸受けと軸芯を合わせ、調整ネジを回して軸芯を軸受けに入れる

注意

※軸芯は必ず全て出して、軸受けに入れてください。

※扉側の下部ヒンジの軸が入らない場合は、本手順書「4 扉側下部フロアヒンジ軸の回転」を行ってください。

※本手順の7-④で軸を回転させた同じ向きから扉を吊り込んでください。異なる向きから扉を吊り込むと扉が開く方向に動きます。

10 扉の閉鎖位置調整 及び 開口との隙間調整

- ① 先ず、下部フロアヒンジ受けの6箇所全ての調整ネジを六角レンチで緩めてください。
扉の閉鎖位置が正常な位置となるように調整してください。
また、開口との隙間が正常な位置となるように調整してください。

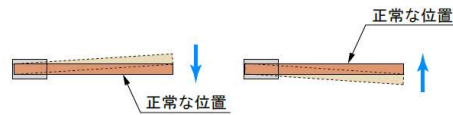
扉の閉鎖位置調整



開口との隙間調整

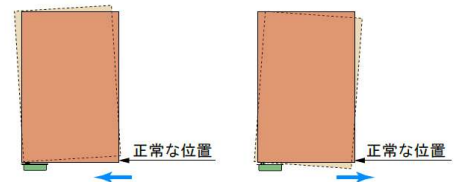


6箇所の調整ネジ（赤矢印部）を六角レンチ(M3)で「扉の閉鎖位置」と「開口との隙間」を調整



【閉鎖位置の調整】

上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整



【開口との隙間調整】

上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整

注意

※調整をする時は一度6箇所の調整ネジを全て緩めてから調整をしてください。

※調整は、必ず6本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレてしまいます。

□スイングドア 【カエサル専用】

カエサル

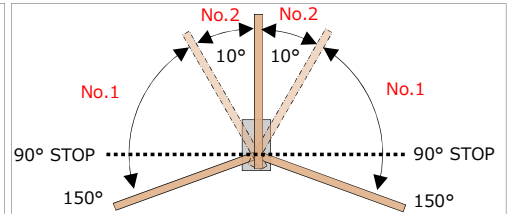
施工手順書2022/1更新

11 開閉速度の調整

- ① 扉側の下部ヒンジにある速度調整ネジを回して開閉速度の調整をしてください。

【調整範囲】

- ・ No.1
開閉角度 10°~150°
- ・ No.2
開閉角度 0°~10°



扉側の下部ヒンジにある開閉速度調整ネジ（No.1及びNo.2）をマイナスの手動ドライバーで回して開閉速度を調整

注意

- ※No.1とNo.2の開閉速度の差を極端に変化させないでください。
- ※No.1とNo.2それぞれの開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。
- ※No.1とNo.2の開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

12 フロアヒンジの各カバーの取付け

- ① 【扉側ヒンジのカバー取付け】

上側

カバーをビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。
※ビスは扉側上部ヒンジで使用したビスと同じものです。

下側

カバーを同梱ビス2本で取付けてください。



上側カバーをビスで取付け



下側カバーを付属のビスで取付け
※ネジは強く締め過ぎないように注意

- ② 【下部フロアヒンジ受けのカバー取付け】

下部フロアヒンジ受けに、戸先側と戸尻側からカバーを嵌め込んでください。



下部フロアヒンジ受けのカバー取付け

注意

- ※扉側のカバーをビス止めする時は、手動ドライバーで取付けてください。締め過ぎると、カバーが変形する恐れがあります。

□スイングドア 【カエサル専用】

13-1 ハンドルの取付け（標準GC/GDタイプ）

<p>① 【標準・GHハンドルの場合】 内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外してください。</p>			
	<p>内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外す</p>		
<p>② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。</p>			
	<p>上記の通りに扉を挟み込んで取付ける</p>		<p>外部ハンドルを取付け</p>
<p>注意</p>	<p>※同梱のビス（M6×50）、ゴム製リングは使用しません。</p>		

13-2 ハンドルの取付け（GF/GGタイプ）

<p>① 【GF・GGの場合】 内部ハンドルと外部ハンドルを確認します。</p>			
	<p>内部ハンドルと外部ハンドルを確認する</p>	<p>【内部ハンドル】 横ビスの穴あり</p>	<p>【外部ハンドル】 ビス穴無し</p>
<p>② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。</p>			
<p>注意</p>	<p>※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。</p>		

□スイングドア 【カエサル専用】

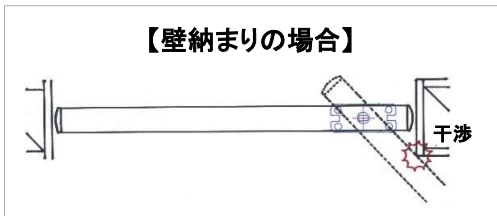
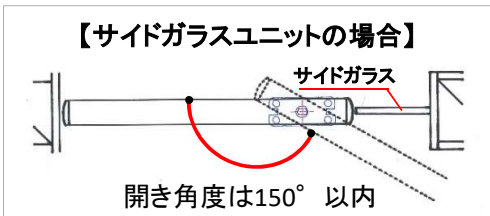
カエサル

施工手順書2022/1更新

13-3 ハンドルの取付け（GEタイプ）

<p>① 【GEの場合】 内部ハンドルと外部ハンドルを確認します。</p>	 <p>外部ハンドル 内部ハンドル</p>	 <p>横ビスの穴</p>	 <p>横ビスの穴無し</p>
<p>② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。</p>	 <p>スブラッシュワッシャー M6×80 内部ハンドル ゴムパッキン 扉 外部ハンドル コロ</p>		
<p>注意</p>	<p>※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。</p>		<p>内部ハンドルを横ビスで取付ける</p>

14 床付け戸当たりの取付け（オプション）


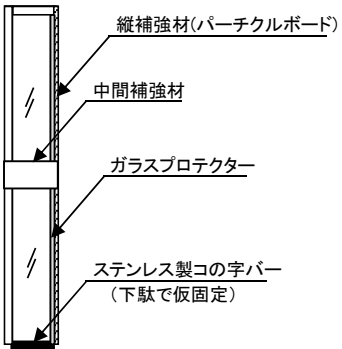
<p>床付け戸当たりを取付ける場合は、扉の中央より戸先側に当たるように床に取付けてください。 吊元側に取付けると床付け戸当たりが悪影響を与える恐れがあります。</p>	<p>【壁納まりの場合】</p>  <p>干渉</p>	<p>【サイドガラスユニットの場合】</p>  <p>サイドガラス 開き角度は150° 以内</p>
<p>注意</p>	<p>巾木や壁と扉が干渉する場合は戸当たりを取付ける 150度以上開かない様に戸当たりを取付ける</p>	<p>150度以上開かない様に戸当たりを取付ける</p>
<p>※戸当りは戸先側に当たるように取付けてください。戸尻側に取付けると戸当たりが破損する恐れがあります。 ※150度以上開かないように戸当たりを取付けてください。150度以上開けるとヒンジ金物が破損する恐れがあります。 ※オプションの床付け戸当たりを取付ける場合は、扉を勢いよく開けないよう注意してください。 勢いよく開けると、床付け戸当たり及びヒンジ等の破損の原因となります。</p>		

□カエサルサイドガラス

サイドガラスユニット
 施工手順書2022/1作成

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

造作材			施工手順書				
部材	数量	備考	同梱 部 品				
サイドガラス	1セット	ガラスは組込み済み ※ガラス下部のステンレス製コの字バーは接着剤で固定済み					
							

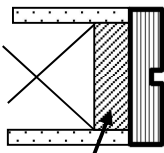
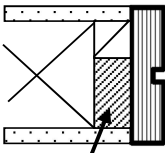
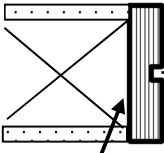
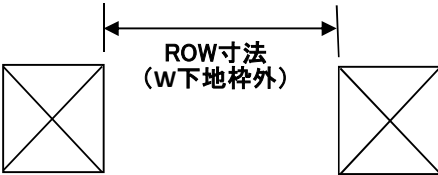
- ※1 ガラスは強化ガラスを使用しています。
- ※2 ガラスの交換はできません。
- ※3 納品時は袖ガラス下部にはコの字バーがLVLで仮固定されています。
- ※4 施工中はガラスを傷つけないように養生をしてください
- ※5 ガラスプロテクターは、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨いたします。

□カエサルサイドガラス

サイドガラスユニット

施工手順書2022/1作成

1 施工前の確認事項

<p>① サイドガラスを設置する前に、開口部の中(図面:ROW寸法)と、高さ(図面:床仕上～開口高さ)、及び床仕上げの厚みを確認してください。</p> <p>※サイドガラスの設置は、ガラス下部のコの字バーが床仕上げ面より下に納まりますので床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間なく固定 下地枠</p>	
	×	×	○	
	 <p>ROW寸法 (W下地枠外)</p>			
	開口の確認			
<p>注意</p> <p>※サイドガラスは躯体と面接するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。</p> <p>※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。</p> <p>※サイドガラスのガラスは交換できません。</p>				

2 サイドガラスの設置・固定方法

<p>① サイドガラスの設置前にガラス下部のコの字バーを保護している木材・下駄を取外します。</p> <p>※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p>	 <p>下駄 縦補強材 (パーティクルボード)</p>	 <p>中間補強材がついて納品</p>	 <p>縦枠下端=床仕上げ面</p>	<p>※ガラス下部のコの字バーは縦枠より出っ張ってますので取扱いに注意してください。</p>
	縦補強材と下駄が 取付いて納品		縦枠の下端が床仕上げ面 ※ガラス下部のコの字バーは床仕上げ面より下に納まる	
<p>② サイドガラスの設置前に縦枠の下に床仕上げ材と同じ厚みのパッキン材(現場手配品)を仮置きし、サイドガラスを載せ、酢ビ系接着剤併用にて取り付けビス(現場手配品)で躯体に固定してください。(下穴が開いていませんので、必ず下穴をあけてから取り付けてください)</p>	 <p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	 <p>パッキン(仮置き) ※床仕上げ材と同厚</p>		 <p>ビス固定の方法</p>
	縦枠の下に床仕上げ材と同厚のパッキンを仮置きし、 サイドガラスをパッキン材の上に載せビスで固定			
<p>注意</p> <p>※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p> <p>※縦枠の下端が床仕上げ面となります(後から施工する床仕上げ材が差し込めるようにしてください)。</p> <p>※サイドガラスを設置する際、パッキン材(仮置き)の上にガラス下部のコの字バーが載らないようにしてください(コの字バーが床仕上げ面より下に納まります)。</p> <p>※サイドガラスの取り付けビスはガラスをまたいで2列、300mmピッチ程度で固定してください。</p>				

□カエサルサイドガラス

サイドガラスユニット

施工手順書2022/1更新

3 ガラス下部のコの字バーを固定し、床仕上げ材を取付ける

<p>① サイドガラスの固定後、縦枠の下に仮置きしたパッキン材を取り外します。 次にコの字バーが下にズレ落ちないようにパッキン材を3箇所(両端と中央)、コの字バーの下にしっかり入れてください。</p>	<p>パッキンを引き抜く パッキン(仮置き) ※床仕上げ材の厚</p>	<p>パッキン材 ※両端と中央</p>		<p>床仕上げ厚12mmの場合 ガラス コの字バー パッキン 12 9 3 捨て貼り</p>
<p>縦枠下端に仮置きしたパッキン材を抜く</p>	<p>コの字バーの下にパッキン材をしっかりと入れる</p>	<p>コの字バーの側面からパッキン材がはみ出さないよう切る</p>	<p>下記「注意」参照</p>	
<p>② 上枠を天井に固定して、コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取り付けます。</p>	<p>上枠を固定</p>	<p>【注意】 垂れ下らないように垂直にしっかり固定</p>		<p>コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取付ける</p>
<p>注意</p>	<p>※コの字バーは床の捨て貼り面から浮いて設置されますので下にズレ落ちないようにパッキン材をしっかりと入れてください。 ※コの字バーの下に挿入するパッキン材の厚みは床仕上げ材(フローリング)の厚みにより異なります。 参考; 床仕上げ厚12mmの場合: パッキンの厚み3mm、床仕上げ厚15mmの場合: 6mm 但し、床捨て貼り面の不陸が大きい場合は現場にてパッキンの厚みを調整してください。 ※ガラスプロテクター側が垂れ落ちないようにしっかりと固定をしてください。</p>			

4 石膏ボード・幅木・クロス施工

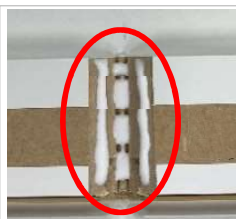
<p>① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。 (接着剤は酢ビ系をお勧めします)</p>	<p>接着剤全面塗布</p>	<p>Vカット部分も接着剤を塗布する</p>	<p>←幅木の切欠き加工</p>	<p>シンプル幅木の取り付け</p>
<p>② 石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りを推奨) クロスは、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。(ガラス押えの出寸法3mm) ※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。</p>	<p>メッシュテープ貼り</p>	<p>ビス部分にもパテ処理</p>	<p>石膏ボード 下地枠</p>	<p>石膏ボード 下地枠</p>
<p>注意</p>	<p>※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合: 高さ30mm×深さ7mm)。 ※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。 ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな賀無いようにしてください。</p>			

5 石膏ボード・幅木・塗り壁施工

- ① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)



接着剤全面塗布



Vカット部分も接着剤を塗布する



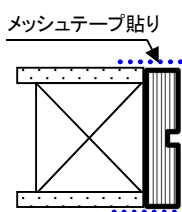
←幅木の切欠き加工

縦枠下端の幅木切欠き加工部 深さ4mm(塗り壁の場合)



シンプル幅木の取り付け

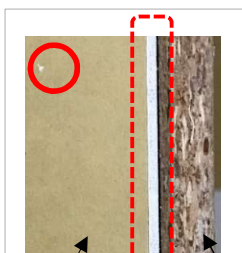
- ② ガラス・コの字バー・幅木に養生を行い、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ処理(2度塗りを推奨)をしてください。パテが乾燥後、下塗り材(アク止め入り)をムラなく塗り、1~2日乾燥させてください。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3~4日乾燥させてください。



メッシュテープ



ビス部分にもパテ処理



石膏ボード 下地枠

石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす



石膏ボード 下地枠

枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている

注意

- ※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(塗り壁仕様の場合:高さ30mm×深さ4mm)。
- ※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。
- ※塗り壁は、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。但し、ガラス押えの出寸法が3mmのため塗り厚は3mm以下としてください。
- ※漆喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1~2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。
- ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無ないようにしてください。

注 ガラスプロテクターについて

【カエサルサイドガラスの取扱い注意】

- 工事中はガラスを傷つけないように養生をしてください。
- ガラスプロテクターは、お引渡し後も取付けたまま、お使いいただくことを推奨致します。



ガラスプロテクター

カエサルのサイドガラスは強化ガラスです。ガラスエッジの保護材としてガラスプロテクターを取付けて納品してます。ガラスプロテクターは取外し可能ですが、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨致します。